

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	食のイベント「オイ井グランプリ2015」			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	まちづくり課	浪花 丈義	0957-46-1286
事業期間	開始年	平成27年12月1日 (1年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[    ]			
実施期間	(開始日)平成27年12月1日    (完了日)平成28年2月29日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	株式会社 アド長崎新聞佐世保支社		深水 稔	0956-37-1400
	(委託内容) ※別添① 見積書記載のとおり			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町内住民のみならず長崎・福岡・佐賀及び県外の住民		食のイベントを通じて、東彼杵用の特産品を県内外にPRするとともに、地域の商店の活性化や交流拡大を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	H27.12.1(火)～H28.2.29(月)の3か月間東彼杵町内協賛飲食店舗7店舗において各協賛飲食店舗の自慢の一品を(丼もの)を提供し、東彼杵町の特産品を県内外にPRする食のイベントを開催した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) H26年度も同じ食のイベントを実施し、好評だったこともありさらなる食の魅力を発信することにより交流人口及び消費拡大・獲得を図る。併せてイベント浸透を促す。			
	(経緯・現状) 東彼杵町では、H23年～24年度に特産品である「鯨」に特化した食のイベントを他町と連携して行い、一定の効果が得られた。その後、H26年度まで特に食のイベントを実施しておらず、素晴らしい特産品をPRする機会が激減していた。そこでH26年に鯨だけでなく、他の食の魅力を伝えることで消費拡大を目指し、町内協賛各店舗の創作した魅力的な丼ものを提供し食の魅力を観光資源としてPRする「オイ井グランプリ」を開催した。H27年度もさらなる食の魅力を発信することにより交流人口及び消費拡大・獲得を図ることを目的に「オイ井グランプリ2015」を開催した。			

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)				758,980円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			379,490円				
	一般財源			379,490円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	町内協賛店舗数	協賛する町内店舗の数	店	目標	-	-	11
					実績	-	-	7
				目標達成率 (%)	-	-	63.6	
	②	食の売上数	食の売上の数	食	目標	-	-	1000
					実績	-	-	1594
				目標達成率 (%)	-	-	159.4	

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必要性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価  妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) ・今回昨年度に引き続き2回目のイベントであり、イベントの定着並びに食の魅力を観光資源としてPRしていく為には継続して行うことが必要である。廃止又は休止した場合の影響は、食の魅力を観光資源としてPRすることが難しくなり、認知度向上にはつながらなくなる。	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		町内協賛店舗数は同じではあったが、期間を延長したこともあり、約2倍以上の来客増加につながった。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
実施予定 期 日	H28 年度		
効率性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		
	(1) 民間委託化等の妥当性評価		
<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		将来的には町内飲食店舗でイベント実施を行っていくような方向に持っていきたいが、今回まだ2回目ということでもありイベントの定着・浸透がまだまだ浅い為行政の関与が必要となる。	
効率性の点検	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		町独自のイベントであり、特に受益者負担はなし。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	イベントの内容や協賛飲食店を増やし、さらなるイベント周知を図る必要がある。				